

かわせみ(日高市の鳥)

November 2012

23号

<http://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/index.html>

(開院5周年記念)

埼玉医科大学

# 国際医療センターニュース

SAITAMA INTERNATIONAL MEDICAL CENTER NEWS



## CONTENTS

- 2P 埼玉医科大学国際医療センター開院5周年を迎えて  
：学校法人埼玉医科大学  
理事長 丸木 清浩
- 3P 全職員が新たな第一歩を——国際医療センター開院5周年にあたって  
：国際医療センター  
病院長 小山 勇
- 4P 診療科のご紹介：放射線腫瘍科
- 5P 診療科のご紹介：病理診断科
- 6P こんにちは、『脳血管内治療科コーディネーター』です。：看護部
- 7P ワクチン接種のおはなし：薬剤部
- 8P 造影CT検査前の問診について  
：中央放射線部
- 9P 採血で使用している主な採血管の紹介  
：中央検査部
- 10P ありがとうメッセージが届きました！  
：事務部 医務課
- 11P 医療機器体験コーナー「あなたもスーパードクター」：総務課
- 12P 紹介・予約制について／面会について  
：医務課  
看護師募集中：総務部人事課

●武蔵野の伏竜（平成24年9月5日撮影）

**基本理念：**患者中心主義のもと安心で安全な満足度の高い医療の提供をし、かつ最も高度の医療水準を維持する。

**使命：**当センターは、埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門特殊医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供する。

**基本方針：**患者中心主義(patient-oriented)を貫き、あらゆる面で“患者にとって便利”であることを主眼とし、患者ひとりひとりにとって最も適切な医療を提供する。

**患者さんの権利：**当センターは、すべての患者さんには、以下の権利があるものと考えます。これらを尊重した医療を行うことをめざします。

- ①ひとりひとりが大切にされる権利    ②安心で質の高い医療を受ける権利    ③ご自身の希望を述べる権利
- ④納得できるまで説明を聞く権利    ⑤医療内容をご自身で決める権利    ⑥プライバシーが守られる権利



当センターは、紹介・予約制です。

Saitama Medical University Saitama International Medical Center

## 埼玉医科大学国際医療センター開院5周年を迎えて

学校法人埼玉医科大学 理事長 丸木 清浩

国際医療センターは、“20世紀型医療の反省の下に、21世紀型医療を追及するニューフロンティアたらん”という気概をもって、平成19年4月に開院いたしました。その中核をなすものは、“徹底した患者中心主義”の実践です。同時にそれは、“病院らしくない病院”を創ることでもあります。国際医療センターのエントランスに入り、どのような印象を抱かれたでしょうか。“ここが病院か！”と書いていただければ嬉しく思います。

国際医療センターが提供する医療は、がん、心臓病、脳卒中の3大成人病と救命救急医療です。高度・急性期医療を提供しております。又、地域の医療機関の先生方と協力し、地域循環型の医療体制を構築し、患者さんに安全で安心できる医療を提供しております。当センターと地域の医療機関を、患者さんが病状等に応じて利用することで、地域全体で患者さんを支えていくことが私どもの目指す医療です。

現在、国際医療センターの患者さんの90%以上は、地域の医療機関からの紹介によるものです。国際医療センターから地域の医療機関への紹介率も60%を超えております。おかげさまで当センターは開院5周年を迎えたばかりですが、既に診療実績では全国でトップクラスの実績を上げています。

又、国際医療センターは毛呂山の大学病院と約2.5km、車で5分と非常に近いところにあります。この2つの病院は相互補完的な医療提供体制を取り、1つの病院であるかのように連携し、1つのメディカルセンター

を構成しています。

私どもは従来から“我々のテーマは「限りなき愛」である”という信念を持って埼玉医科大学を運営してまいりました。その「限りなき愛」を具現化するために“Your Happiness is Our Happiness (あなたの幸せが私たちの幸せです)”という合言葉を掲げ、職員が一丸となって取り組んでおります。この合言葉は、患者さんと医療者との関係だけでなく、ご家庭でも、職場でも、人間関係の礎となるものと考えております。このスローガンを、ぜひ皆様方にもご利用頂ければ幸甚です。



### 埼玉医科大学国際医療センター 開院5周年記念感謝の会

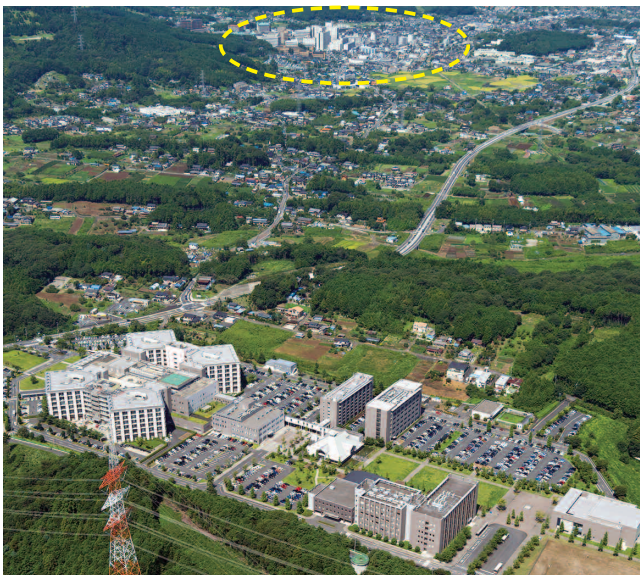


♥ 9月13日に行なわれた「開院5周年記念感謝の会」から。ステージ上のマイクに向かってるのが心臓病センター長の加藤木先生、その右に小山病院長。

当日は、丸木清浩理事長のあいさつに続き、塩川 修埼玉県副知事、金井忠男埼玉県医師会長、片山茂裕埼玉医科大学病院長より御祝辞を頂きました。

開院5周年を迎え、私どもは新たな5年に向けて活動を開始いたしました。“21世紀型医療を追及するニューフロンティアたらん”という開設時の気概を忘れることなく、常に医療の質を重んずる誇りある医療人として、高度の急性期医療を提供する医療機関として使命を果たしていく所存でおります。“がん、心臓病、脳卒中なら国際医療センター”といわれるよう精進してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻の程をお願いし、挨拶いたします。



♠ 国際医療センターから毛呂山の大学病院（写真中央上方）を望む。距離、約2.5km。（平成24年9月5日撮影）

## 全職員が新たな第一歩を—— 国際医療センター開院5周年にあたって

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 小山 勇

埼玉医科大学国際医療センターは平成19年4月に開設されてから5年を経過し、6年目に入っています。

当センターは、がん、心臓病、脳卒中という3大成人病および救命救急に特化した高度医療施設として日高の地に設立されました。これら専門領域の診療を大学病院から日高に移して、より高度で先進的な医療を实践するという学校法人の戦略の中で誕生したものです。

平成19年4月、大学病院入院中の患者さん110名を近隣の9か所の消防署・救急隊のご援助によりピストン輸送で移動し、病院スタッフが総出で準備をして開院に漕ぎ着けることができました。まさに行政や地域の方々の心強いご支援、そして多くの職員の結束により診療を開始することができたのです。

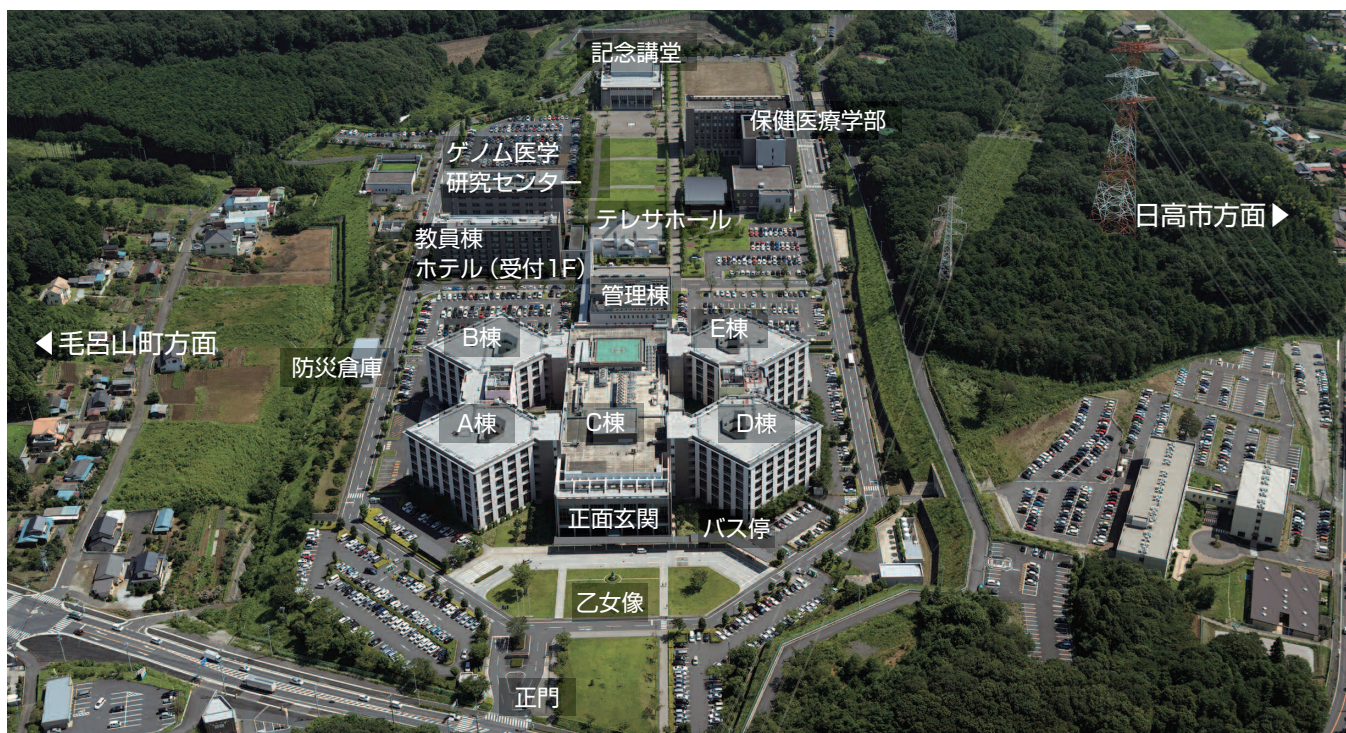
この5年間は順風満帆で、幸いなことに増床を繰り返し、今年4月には700床をフルオープンすることができました。

包括的がんセンターはあらゆる臓器・領域において全国のトップクラスの実力を持つようになりました。受診したがん患者数は全国のがん診療拠点病院の中で5位となり、さらに心臓病センターにおける手術件数は全国で3位にまでなりました。脳卒中の患者数や脳血管の手術数も全国のトップレベルになっています。

人口の決して多くない埼玉県の西部地区で、このように多くの患者さんが当院を選んで頂いたことに深く

感謝申し上げるとともに、地域の先生方に深くお礼申し上げたいと思います。

国際医療センターは「徹底的な患者中心の医療」を最重要の価値としてきました。「Your happiness is our happiness」はそれを別の言葉でわかりやすくしたものです。この5年間、全職員をあげて、この最重要課題に取り組んできました。職員の献身的な努力に感謝申し上げるとともに、その中で、少しでも患者中心の医療を实践することができたことは私たちの誇りとするところです。病院は患者さんに診療を通して癒しを与えることが大きな使命です。患者さんにもっと満足をしていただける病院を目指す必要があります。外来の待ち時間や色々な面での対応など、まだまだ十分ではありません。今までのやり方にとらわれずに、診療の質やサービスの質、病院の環境改善など、いかに患者さんに満足していただけるか、全職員を挙げて取り組んでいきたいと思ひます。



♥ 正面から見た国際医療センター全景（平成24年9月5日撮影）

## 診療科のご紹介

## 放射線腫瘍科

放射線腫瘍科：加藤 眞吾

♠ 放射線治療はがん治療の3本柱の一つです。放射線腫瘍科では、放射線治療専門医、医学物理士、診療放射線技師、看護師がチームを組んで、さまざまながんに対して安全でかつ効果の高い放射線治療を行っています。

放射線治療の方法には身体の外から放射線を照射する外部照射と、放射線を出す線源をがん組織ないしがんのある臓器に挿入して治療する小線源治療があります。がんの種類によってどちらかひとつの治療法を行うこともあれば、外部照射と小線源治療を組み合わせる治療することもあります。

♥ 当院では外部照射の装置として、最新鋭のリニアック2台とサイバーナイフ1台を備えており、すべての部位のがんの治療に対応しています。これらの治療装置では画像誘導放射線治療 (Image-guided Radiation Therapy: IGRT)、強度変調放射線治療 (Intensity-modulated Radiation Therapy: IMRT)、定位放射線治療 (Stereotactic Radiotherapy: SRT) といった高精度の放射線治療が可能で、がん周囲の正常組織に対する放射線の線量は低く抑さえつつ、がんに対しては高線量を照射することができ、副作用が低くて効果の高い治療が実現できます (図1, 2)。

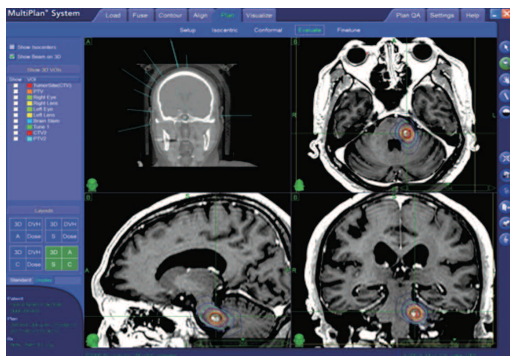


図1 脳転移に対するサイバーナイフを用いた定位放射線治療  
正常脳組織への線量を低く抑えて腫瘍に集中して高線量を照射している。

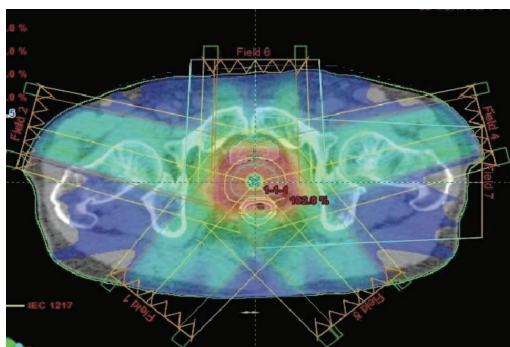


図2 前立腺がんに対するライナックによる強度変調放射線治療 (IMRT)  
直腸・膀胱などへの線量を低く抑えて前立腺に高線量を集中して照射している。

♣ また小線源治療としては、子宮頸がんや前立腺がんに対してイリジウム-192を用いた高線量率腔内・組織内照射ならびにヨウ素-125を用いた低線量率組織内照射を行っています。これらもがんに対して高線量を集中することができる優れた治療方法です。当院では小線源治療においてもCTを用いた画像誘導小線源治療 (Image-guided Brachytherapy: IGBT) を行い、安全で効果の高い治療を実現しています (図3)。

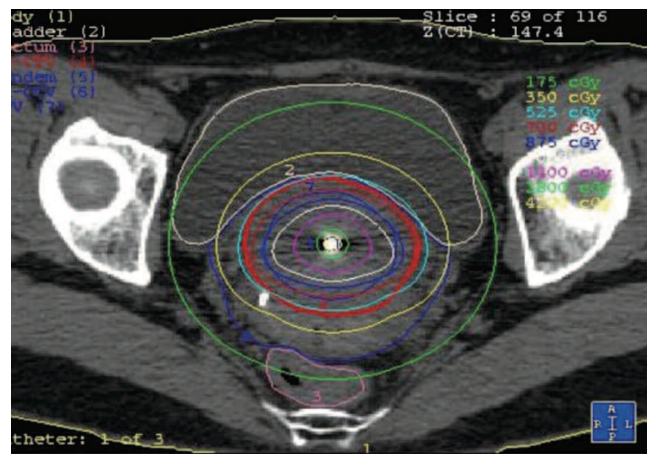


図3 子宮頸がんに対する画像誘導小線源治療 (IGBT)  
直腸・S状結腸・膀胱への線量は低く抑えて子宮頸部の腫瘍に高線量を照射している。

◆ 放射線治療は、さまざまながんに対する根治的治療 (がんを完全に治すことを目的とする治療) として用いられるだけでなく、進行したがんの症状を和らげる治療としても広く用いられています。例えば骨転移の痛みやがんからの出血などは大変辛い症状ですが、放射線治療はこれらの軽減に非常に有効であり、患者さんの生活の質 (Quality of Life: QOL) の改善に重要な役割を果たしています。



放射線腫瘍科スタッフ一同。前列中央が診療科長の加藤教授。

## 診療科のご紹介

### 病理診断科

病理診断科：永田 耕治

病理診断科は、平成20年4月1日に新しく認められた診療標榜科で、一般の方にはまだなじみのない診療科と思われます。病理診断科が行っている「病理診断」は最終診断のなかで大きな役割を占める医師免許が必要な医療行為で、資格試験を経て病理診断を専門に行う病理専門医が行っています。

私たち病理医の仕事は大きく三つに分けられます。

♠ 一つは、癌に代表されるヒトの病気の成り立ち（発生機序）を、患者さんから得られた組織や実験動物、培養細胞などを用いて明らかにする仕事です。その成果は最終的に後に述べる分子標的治療薬などの創薬へ結びつき、時間がかかりますが多くの患者さんに還元されています。

♥ 二つめは、臨床医が内視鏡検査・治療や手術によって採取・切除した組織や細胞を、顕微鏡などを用いて観察・評価し、細胞診、組織診断、病期（病気の進行の程度）診断を行うことです。病理組織診断には、細胞診断、生検組織診断、手術材料の組織診断、手術中の迅速診断があります。咳や尿、子宮癌健診で行われる細胞診断は、比較的低侵襲で、かつ有用な結果を得ることができ、当科では10名を越える細胞検査士と共に毎日その診断を行っています。

組織診断のため病変から採取される「生検（せいけん）」は、病気の確定診断となりえ、臨床診断とあわせて主治医が患者さんの治療方針を決定するうえで重要な位置を占めます。

治療として手術が決定された場合は、手術中に病変の最終確認や病変の広がり、病変が取り切れているかを確定する「術中迅速病理診断」が行われる場合があります。リンパ節転移の有無を手術中に確認することによってリンパ節廓清の術式を手術中に決定でき、術後の生活の質の向上に役立ちます。また、切除断端の病変の有無を確認することで、術後再発リスクの低減に役立ちます。



病理診断科のスタッフ一同。前列左から3人目が診療科長の清水教授。

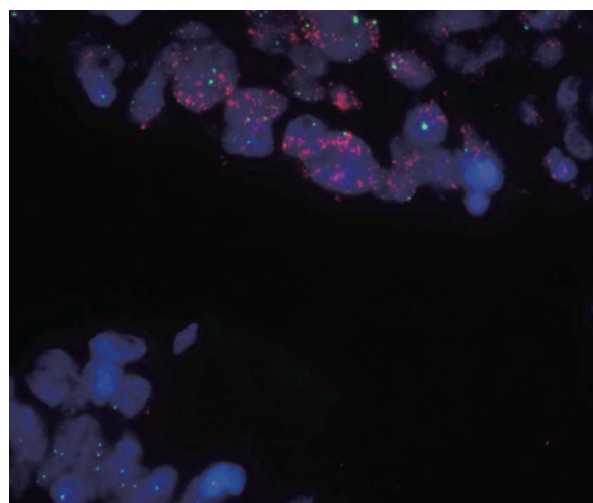


図1 FISH法による乳癌HER2遺伝子増幅の検索

手術後の切除病変には、組織診断、病期診断が行われ、術後の経過観察や化学療法の適応などを決定する際の重要な情報となります。最近相次いで認可されている分子標的治療薬の効果があるか、免疫組織化学や蛍光in situ hybridization法（図1）を用い当科で判断しています。

◆ 三つめとして、不幸にして亡くなられた方で、死因の確定、病期（病気の進行程度）の確認、生前行われた治療効果判定などのために、ご遺体を解剖させて頂く病理解剖があります。今日では、エコー、CT、MRI、PETなどの優れた画像診断装置があり、かなり正確な生前診断が可能ですが、未だに病理解剖によって初めてわかることもあります。病理解剖の結果は、解剖を行った病理医から主治医へ報告され、ご遺族に説明されます。

♣ 以上のように、医療の質を支える上で病理診断は重要で「病理診断科」の存在は病院評価にも取り上げられています。医師不足の中でも病理専門医の不足は最も深刻ですが、本院の病理診断科は病理専門医5名を含む10名の病理医が臨床部門に位置づけられ、内科系、外科系の臨床医と定期的カンファレンスはもちろん個別にも緊密に連携し、患者さんにとって質の高い病理診断を提供しています

なお、病理組織（検体）は、医学研究・治験・教育・診断の精度管理に用いられる場合があります。この場合、倫理委員会の承認を得て、個人の特定ができないよう、プライバシーの保護には細心の注意を払って行いますので、ご理解のほど宜しくお願いいたします。また、各診療科の専門医から依頼があれば、セカンドオピニオン外来にも参加致します。

## こんにちは、『脳血管内治療科コーディネーター』です。

看護部：飯田 優

♠ コーディネーターとは、患者さんやご家族（患者さん側）と医師やその他医療従事者（医療者側）との隙間を埋める調整係です。患者さんが安心して検査や治療が受けられるよう、患者さん側に立った医療支援を実践しております。

### 【コーディネーターの主な役割】

- 1) 患者さんやご家族からの相談役
- 2) 医師や看護師業務の補佐
- 3) 保険・入院費用などに関する情報提供
- 4) 患者さん側と医療者側との様々な調整

♥ 2011年6月より脳血管内治療科のコーディネーターをさせていただいております飯田 優です。脳血管内治療科石原診療科長のご依頼を受け、病院長・総看護師長の御理解と御協力をいただき、当院の基本理念である『患者中心主義のもと、安心で安全な満足度の高い医療の提供』を目指し、新しい試みとして始めました。この業務を担当できる事を、誇りに思います。

脳血管内治療科では、年間約700例の脳血管撮影検



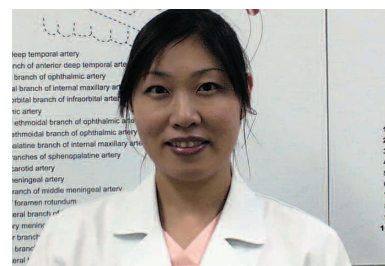
♥ 患者さんへの説明は、図やイラストを使ってわかりやすく。

査、約300例に上る脳血管内治療を行っております。くも膜下出血や急性期の脳梗塞などの緊急治療を必要とする患者さんのみならず、症状は出ていないものの治療が必要な患者さんに対しても先進的な治療を行っております。

◆ 治療を決心する患者さんは、少なからず不安や疑問を持っている場合があり、特に外見からでは治療した部位すら判別できない脳血管内治療では、検査や治療の内容を患者さんご自身が理解する事が難しい場合も多くみられます。

その中で満足していただける医療を提供するには、

患者さん側と医療者側とのコミュニケーションがとても重要です。医師や看護師に遠慮して気になることが聞けなかったりすると、不安や不満が募ります。そのような患者さん側と医療者側との隙間を埋めるための架け橋となるのが、コーディネーターの役割です。



♥ 脳血管内治療科コーディネーターの飯田 優です。  
(一般社団法人 日本医療コーディネーター協会認定 医療コーディネーター)

入院中にお部屋を訪問して不安や疑問を伺い、安心して入院生活が送れるよう支援しております。場合によっては、外来診療での同席、電話やメールでの相談も賜っております。退院時には検査や治療後の通院日程、病気の再発予防のための自宅での血圧管理方法、生活習慣病の予防法などを詳しく説明し、外来通院の必要性を正しく理解してもらえよう支援しております。

♣ 当院での新しい試みとしてスタートし、時には戸惑うこともあります。患者さんやご家族からのメッセージをいただき、日々励みにしております。これまでの臨床経験を活かし、患者さんが安心して検査や治療が受けられるよう、患者さん側に立った医療支援を実践して行きたいと思いますので、何でも御相談ください。

### ＜脳血管内治療科石原診療科長より一言＞

飯田さんは、これまでに一般病床やICU、外来などでの臨床経験があります。患者さんの立場に立った真のサービスを行ってくれており、患者さんからも大変感謝されております。これから一緒に更なるサービス向上を目指して行きます。



脳血管内治療科スタッフ同。前列中央が診療科長の石原教授。

## ワクチン接種のおはなし

薬剤部

松戸 創

♠ 実は今年、関東や近畿地方を中心に「風しん」が流行しているのはご存知ですか？「過去最悪（昨年度同時期の4倍）」とも言われ、厚生労働省も注意喚起を行っています。でも、これから季節、流行するものとしてみなさんが真っ先に思いつくのは「インフルエンザ」ではないでしょうか。すでに沖縄県では「インフルエンザに対する注意報」が発令されています。

私たちもできるだけ予防接種を受け、かからないもしくは症状を軽くしたいものです。今回はワクチンの種類や接種時の注意事項、予防接種などについておはなししたいと思います。

♥ 人間の体には、病原体（細菌・ウイルス）が体内に侵入し増殖することを防ぐために、病原体に感



染するとその病原体を排除する働きを持った物質「抗体」を作り、次に同じ病原体が侵入しても感染症になりにくくする「免疫」という働きがあります。この免疫のシステムを利用した医薬品がワクチンです。ワクチンは1796年、英国で発明されたと言われています。ワクチンを人為的に接種すれば発病することなく、免疫反応の記憶を残すことができます。実際に病原体が侵入してきた時には免疫による防衛反応がすばやく働き、発病せずにすみます。たとえ発病しても軽くてすむことが多いと言われています。このようにワクチンをあらかじめ接種しておくことを予防接種と言います。

◆ 現在、わが国で使用されているワクチンの種類は大きく分けると3種類あります（下記参照）。

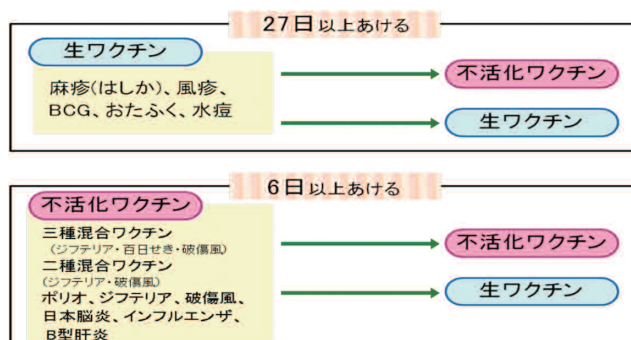
### <ワクチンの種類>

|         |                                                                       |
|---------|-----------------------------------------------------------------------|
| 生ワクチン   | 生きた細菌やウイルスの病原性を弱めた医薬品<br>接種するとその病気にかかった状態とほぼ同じか、やや弱い「免疫力」がつく          |
| 不活化ワクチン | 細菌やウイルスの感染力や毒性をなくして作られた医薬品<br>生ワクチンに比べると免疫力が弱いので、数回接種し、必要に応じて追加の接種を行う |
| トキソイド   | 細菌が出す毒素を取り出し、毒性をなくしてワクチンとしたもの                                         |

これらワクチンを接種したときの注意点として

- ① アレルギーのある方は事前に医師や薬剤師にご相談ください。  
投与前の体調が不良な方も申し出て下さい。
- ② 大変稀ですが、投与直後に血圧低下などの重篤な副作用が出ることもありますので、30分ぐらいは安静にしましょう。
- ③ 投与後に高熱など異常な症状が出た場合は医師の診察を受けてください。
- ④ 妊婦さんは必ず医師に申し出て下さい。  
また、2種類以上のワクチンを接種する場合、アレルギー反応が出現するまで時間が異なりますので接種間隔が重要となります（下図参照）。是非、参考にしてください。

### <図：ワクチンの投与間隔>



♣ 本年もこれからインフルエンザのワクチン接種が始まると思います。今回お話ししたようにワクチン接種してから効果が発現するまでに2週間位かかり、約5ヶ月効果が持続すると考えられています。流行する時期はその年によっても変わりますが、一般的に12月頃と言われています。遅くとも11月末までには接種しておくといいでしょう。

### <ワクチン接種の申し込みについて>

接種場所・費用等の詳しいことはお住まいの市町村にある役場、市役所、保健センター等にお尋ねください。

感染症を予防するために、日頃からこまめに「手洗い」と「うがい」を心掛け行いましょう。

## 造影CT検査前の問診について

中央放射線部

吉田 正

造影剤を用いたCT検査（造影CT検査）を行う際、安全に検査を行うため検査前に質問表を中心とした問診を行っています。病気の種類によって造影CTが必要な場合がありますが、造影剤では副作用を生じることがあります。問診は造影CT検査の適応の決定や患者様個々に応じた造影剤の種類および量の決定、検査後の適切なアドバイスなどに役に立ちます。今回は質問の内容やポイントなどにつきご説明いたしますので、検査時には、より安全な検査のために質問表にご回答いただくようお願いいたします。

### 造影CT検査における問診内容と注意事項

| CT 検査を受ける方へのご質問                  |                                                                                                         |        |
|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| CT の造影検査を安全に行うために、枠内の質問にお答えください。 |                                                                                                         |        |
| 1                                | 今までに造影剤を注射してCTの検査を受けたことがありますか？<br>「はい」の方：検査後に体調の変化があった方は○をつけてください。<br>(じんま疹・せき・息苦しさ・気分不快) いつ( )         | はい いいえ |
| 2                                | 食事をとってきましたか？<br>「はい」の方：( ) 時ごろ、( ) を食べた                                                                 | はい いいえ |
| 3                                | 薬剤のアレルギーはありますか？<br>「はい」の方：薬の名前( ) その時の症状( )                                                             | はい いいえ |
| 4                                | ぜんそくと診断されたことはありますか？<br>「はい」の方：現在、治療しているかたは○をつけて下さい。(内服・吸入)<br>最後の発作はいつですか？( )                           | はい いいえ |
| 6                                | 次の糖尿病治療薬を内服していますか？<br>「はい」の方：○をつけてください<br>(グリコラン・メデット・メルピン・ネルビス・シバトス・シバトンS・<br>メトリオン・メトホルミン塩酸塩・塩酸ブホルミン) | はい いいえ |
| 7                                | 現在妊娠中、または妊娠の可能性はありますか？                                                                                  | はい いいえ |
| 8                                | 現在授乳中ですか？                                                                                               | はい いいえ |
| 9                                | 現在の体重を教えてください。 Kg                                                                                       |        |

ご協力ありがとうございました。  
ご不明な点がありましたら、放射線技師、看護師にお聞きください。

ふりがな  
氏名 \_\_\_\_\_

生年月日(大正・昭和・平成) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

確認者サイン \_\_\_\_\_ 埼玉医科大学国際医療センター CT検査室

#### 1. 過去の造影剤使用歴と副作用の確認について

過去に造影CT検査で造影剤による副作用が発症した方は、次回も副作用が出やすいためです。

#### 2. 検査前の食事の摂取について

造影剤の副作用には悪心、熱感、嘔吐などがありますが、そのうちの嘔吐物による誤嚥防止や腹部検査時に消化管内の残渣が画像に影響をおよぼす可能性を避けるためです。

#### 3. 薬剤アレルギーの有無について

**アレルギー体質の方は**造影剤の副作用が現れる可能性が3倍程度高いと言われているためです。

#### 4. 喘息の有無について

**喘息の方は**造影剤の副作用が現れる可能性が10倍程度高いと言われていますが、病気の診断に造影CTの必要な場合は慎重に対応して

います。主治医にご相談くださるようお願いいたします。

#### 6. 糖尿病治療薬の服用について

糖尿病内服薬の中には、造影剤の併用によって腎機能低下の危険性がある薬剤があり、造影検査後**48時間**当該薬剤の内服を控えて頂くことがあります。

#### 7. 妊娠の有無について

胎児に対してはX線被曝や造影剤の安全性が検証されていないため、妊娠または妊娠の可能性についてお尋ねしています。

#### 8. 授乳について

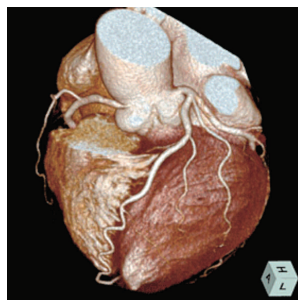
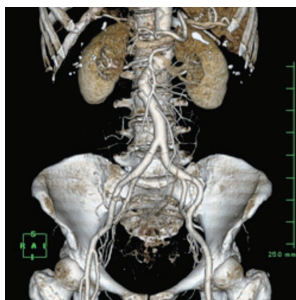
造影剤の成分が母乳に分泌され乳児への造影剤の影響が未確認のために、造影検査後**24時間**は授乳を控えて頂きます。

#### 9. 体重について

体重により、使用する造影剤の種別や量が異なるためにお尋ねしています。

検査前に問診を行うことで、造影剤による副作用の起こりやすい要因を確認し、造影剤を注意深く使用する、あるいは使用しないで検査を行う場合があります。

副作用の大部分は、嘔気、嘔吐、皮膚のかゆみ、発疹などですが、まれにショックや息苦しいなどの重篤な副作用もあります。副作用の大部分は、造影剤投与後まもなく(通常5分以内、ほとんどが30分以内)現れますので、万が一副作用が出現した場合は、検査にあたる医師、看護師、技師が対応し、必要に応じた処置をとります。まれですが1時間以上経過して、または、数日以内に副作用が発生する場合がありますので、帰宅後にこれらの症状がありましたら病院にご連絡ください。



CT検査により造影剤を使用した検査事例

## 採血で使用している主な採血管の紹介

中央検査部

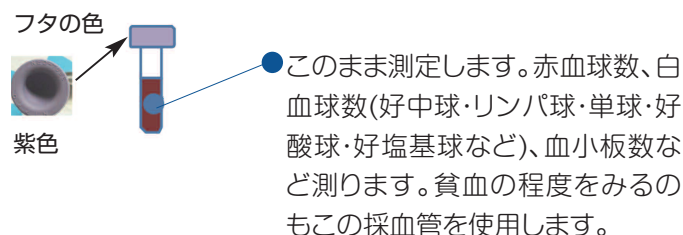
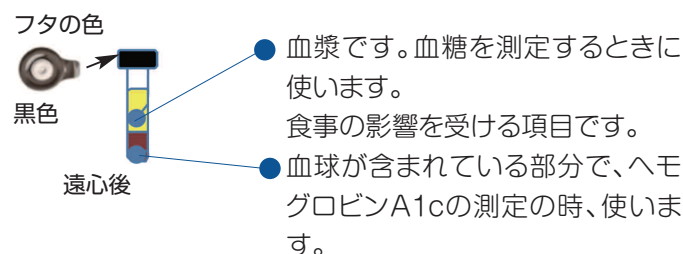
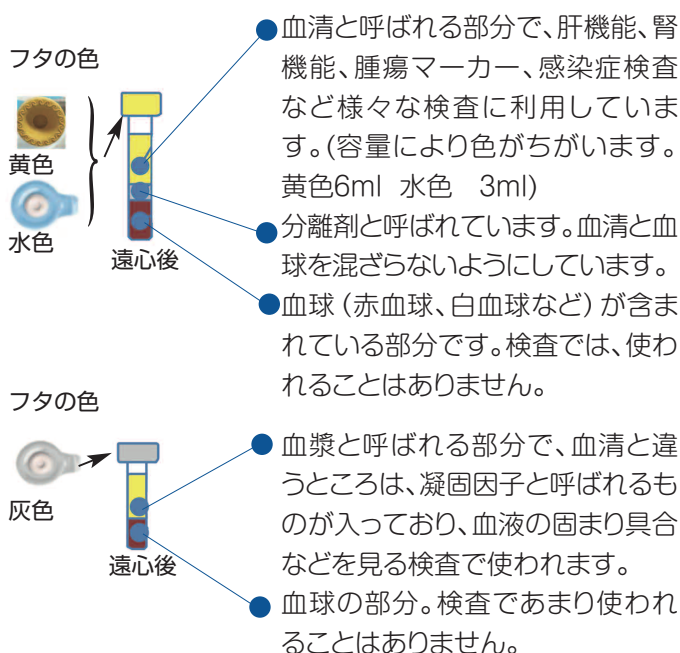
網野 育雄

採血室は各外来センターに1か所ずつの計3か所あります。3か所とも朝8:00より開いています。検査結果が出るまでに1時間ほどかかりますので、診察前採血がある方は、予約時間の1時間前に来院してください。ご協力のほどお願いいたします。

皆さんから採血した血液は、結果が出るまでどのような処理がされているのでしょうか？

検査室に血液が届きますと一部はそのまま分析装

置に載せます。それ以外の載せられないものは、1分間に3000回転のスピードで10分間遠心分離装置を使い遠心分離という操作をします。そうすると血液は、液体成分（血漿または血清）と血球成分に分かれます。そうして、はじめて分析装置に載せます。分析装置および検体は基本的にバーコードで管理されています。見たことない方は、一度採血室でご覧になってみてください。



採血管について代表的な色と役割について示しましたが、このほかにも様々な色の蓋をした採血管があります。

採血室で質問されることの多い事項です。

**Q、採血の机にあるカラフルな回転しているものは？**  
(写真1)

A、ミキサーといい、検査の内容によって採血管の中に薬が入っていて、それと、血液をよく混ぜるためのものです。

**Q、採血管のなかにある、白いものは血液の中の油？**

A、いいえ、分離剤といわれるもので、血清と血球を分けるためのものです。

**Q、採血のあとはお風呂に入っても大丈夫？**

A、採血だけでしたら大丈夫です。(その他の検査等がある場合はその時にお聞きください)  
入浴時に腕にテープが付いているときは、はがしてください。  
長時間テープを貼っているとかぶれの原因になります。

**Q、採決後に血液が出てきてしまいました。どうしてですか？**

A、採血後、針を刺したところの圧迫が不十分で出血してしまうことがあります。ワルファリンなどの抗凝固薬やアスピリンなどの抗血小板薬を服用されている方、血小板が少ない方は、特に血が止まりにくいことがありますのでテープの上からさらに5分以上圧迫の必要性があります。テープをはがす際には、必ず止血されていることを確認していただきますようご協力お願いいたします。

(文責：佐藤 雅子)



## ありがとうメッセージが届きました♪

事務部 医務課

藤森ほなみ

患者さんの看護や治療・検査等に昼夜奮闘している看護師・医師等の医療者への励ましのメッセージ

を受け付けております。皆さまの応援を励みに、これからも良い医療をめざします。

### 【お寄せいただいたメッセージをご紹介します】



#### 皮膚腫瘍科 医師・看護師さんへ

先生はじめ看護師さん達がやさしく手厚いケアでとても感じが良かったです。いろいろお世話になりました。患者の不安を和らげてくださいました。(患者Wさん)



#### 警備の方へ

初めて来院した日、駐車場から入口へ行く途中母が歩けなくなった時、すぐ駆けつけてくれてありがとうございました。車いすに乗せてくれ、2F受付まで連れてきて下さり、本当に助かりました。右も左もわからず、持ち上げる力もない私にとって「天使」のようでした。本当にありがとうございました。(Nさんご家族)



#### 消化器内科 医師・看護師さんへ

担当医の先生より、電話をいただき術後のことについて詳しく説明いただきました。夜の電話で大変ありがたく思いました。看護師の方々にも親切にしてくださいました。夜間対応等大変と思いますが、体に気をつけてください。(患者Fさんご家族)



#### B棟6階病棟のみなさんへ

手術前には不安があったり、手術後は嘔気であつたりしましたが、いつでも笑顔で優しく接して頂き、とても癒されました。長居してしまいましたが、イヤな顔ひとつせず看護して頂きとても嬉しかったです。先生も毎日、訪問して下さったので、安心しました。お世話になりありがとうございました。居心地のよい病棟でした。

(お名前未記入)



#### 脳血管内治療科 B棟4階病棟 医師・看護師さんへ

昨年10月に手術を行い、不安がたくさんありましたが、手術前と変わらぬ生活が来ています。又、今回は1年目の検査という事ですが、不安はなにもありませんでした。そして、前回の先生達のお顔も見られ、ますます安心しました。先生方、看護師の皆様のご健康を祈ります。(患者Kさん)



「ありがとうメッセージ」と「皆様からのご意見」の内容は、C棟2階の掲示版に掲示してありますので、ご覧下さい。

#### 【ご意見箱設置場所】

総合コンシェルジュ [C棟1階]、総合コンシェルジュ裏 [C棟1階]、入退院ラウンジ [C棟1階]、外来コンシェルジュ (画像診断受付) [C棟2階]、救命救急センター受付 [B棟1階]、各病棟食堂

#### 【記入用紙】

入院手続き書類に同封してあります。

各センターコンシェルジュカウンター、ご意見箱設置箇所にも記入用紙がございます。

頂いたメッセージは責任を持って、医師や病棟にお届けします。  
これからも病院機能及び患者サービスの向上に努めてまいります。



## 医療機器体験コーナー「あなたもスーパードクター」

総務課

## 最新の医療機器に触れよう！

齊藤恵理香



9月19日（水）、患者さんら一般の方を対象に最新の医療機器に触れてもらう体験コーナー「あなたもスーパードクター」が正面玄関ロビーで開催されました。



・患者さんのご家族に操作方法を説明する小山病院長。

♠ このイベントは、医療機器を実際に操作・体験することで医療に対する理解を深めてもらおうと、小山病院長が医療機器メーカー各社の協力を得て企画したものです。玄関ロビーには電気メスや超音波検査装置、器械縫合器、血管カテーテル、人工血管、内視鏡機器、縫合針など多くの最新医療機器が並べられ、来院された方たちが「すごい！」や「難しい!!」、「手術でこれを使用したのか!？」と声をあげながら、興味深げに説明を受け、実際に操作していました。

♥ 主な展示機器を説明しますと、電気メスにはスパッと切る方法と周りを焼きながら切る方法があり、

ペンのように持って、手元のボタンでその使い分けができます。また、超音波検査装置は臓器だけでなく、血管まで画像で見られるものがあり、指先の感覚だけでなく目で確認しながら注射することができます。内視鏡は先端が光ったとても細い管で鮮明な画像を映し出します。右手で内視鏡を持ち、左手のダイヤルで管の角度を調節しながら体内を進みます。把持鉗子はハサミのように開閉して、臓器などをつかんだり離したりすることができます。縫合は左手のピンセットで縫合する部分をつかみ、右手で糸のついた釣り針状の縫合針を鉗子でつかみ、縫いあげます。

♣ 展示された医療機器を実際に操作をしてみると、自分の動きがそのまま機器を通して体内の動きに反映されるので、角度や微妙な力加減が難しく、また画面を見ながらの作業は距離感が分かりづらく、慣れるのが困難でした。利き手でない手での細やかな作業も多く、使いこなす大変さや難しさを実感できました。

◆ 最後に、これを企画した小山病院長は、「医療機器の最終的なユーザーは患者さんなのに、情報を伝えておらず、どのようなもので治療を受けているかを知ってもらうことも医療には大切であり、早晚、患者さん自身が医療機器を選べる時代が来るだろう。」と話しておりました。

## 本紙表紙掲載写真を募集中です。

総務課

国際医療センターでは、本紙表紙やカットに使える写真作品を、広く募集することとなりました。教職員や学生、患者さんやその家族を問いません。

自慢の作品をお送り下さい。次回より表紙等の写真として利用させていただきます。

この募集への応募要領は、以下のとおりです。

- 1) テーマ：「四季折々」（発行の季節に相応しく、かつ、本学や日高市に関連のあるもの。）
- 2) 作品種別：フィルム、デジタル、インクジェット、カラー、モノクロ、いずれも可。
- 3) 締切：特に設けません。
- 4) 応募点数：一人一回3点まで。作品掲載時に氏名公表を希望の方は、その旨明記の事。

5) 発行時期：春号（4月）、夏号（7月）、秋号（10月）、冬号（1月）。

6) 送り先：350-1298 日高市山根1397-1  
埼玉医科大学国際医療センター総務課

「国際医療センターニュース」写真公募係

メールアドレス：sdfkz250@saitama-med.ac.jp

- ※ 応募作の著作権は埼玉医大が有するものいたします。
- ※ 応募作は返却いたしません。又、編集の都合により加工することもあります。
- ※ 応募作の使用の有無、及びその時期についてはお答えできません。
- ※ 採用の場合は粗品進呈。

## 紹介・予約制について

医務課

### 当センターは紹介・予約制です

- ① 紹介状 } が必要です。 
- ② 事前の予約 }

【外来予約センター】 ☎042-984-0474  
☎042-984-0475

## 面会について

医務課

【面会時間】

(平日) 午後 1時 ~ 午後8時

(土・日・祭日) 午前 11時 ~ 午後8時

上記時間以外のご面会はお断りしております。

【面会受付】

C棟1階総合コンシェルジュにて受付をし、面会証をお受け取り下さい。

- \* ICU集中治療室等は、面会時間が別に指定されておりますのでご確認ください。
- \* アレルギーや香りに敏感な患者さんもいらっしゃいますので、お花はご遠慮下さい。
- \* 小学生以下(12歳未満)のお子様の面会はお断りしております。



表紙写真：「武蔵野の伏竜」

西洋のドラゴンは山奥の洞窟に棲み、口から火を吐きますが、東洋の竜は淵や湖底に潜み、そこから天に駆け上がって口から雲を吐き、雨を降らします。

この飛び立つ前の竜を「伏竜」と言いますが、転じて、世に知られていない逸材や、これから大ヒットしそうな事物を言い表すようになりました。「将来性」や「発展性」の代表格なのです。

航空写真の国際医療センターは、獲物に飛びかかろうとするワニのように見えませんか？

玄関の部分が頭で4つの病棟が両手足、そして長く伸びる尾のような道路……。

竜のイメージの元となった動物は、揚子江に棲息するワニだそうです。

総務課 編集担当 征矢野 忍

### 埼玉医科大学国際医療センターニュース

August 2012 第23号【院内配布用】

編集・発行 埼玉医科大学国際医療センター総務課

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根1397-1

TEL：042-984-4128

FAX：042-984-0432

発行責任者 小山 勇

発行日 平成24年11月30日

※本紙記載の写真・記事の無断転載および、複写を禁じます。

 看護師募集中

学校法人 埼玉医科大学



SAITAMA MEDICAL UNIVERSITY

看護師募集中！！

最も環境の整った大学病院で、  
地域に密着した高度な医療に貢献しませんか。

※病院見学、インターンシップ、いつでも大歓迎!! 詳しくはQRコードより

看護師求人ホームページ

<http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/nurse>

埼玉医科大学 総務部 人事課

☎ 0120-61-1181 TEL: 携帯の方 049-276-1115

